

製品名: JNK1 (1A4) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03520**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 46,54 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK8 AI849689; c Jun N terminal kinase 1; C-JUN kinase 1; c-Jun N-terminal kinase 1; EC 2.7.11.24; JAK 1A; JAK1A; JNK 1; JNK 46; JNK; JNK-46; JNK1A2; JNK21B1/2; MAP kinase 8; MAPK 8; MAPK8; Mitogen activated protein kinase 8; Mitogen-activated protein kinase 8;
別名	MK08_HUMAN; p54 gamma; PRKM 8; PRKM8; Protein kinase JNK1; Protein kinase; mitogen-activated; 8; SAPK 1; SAPK gamma; SAPK1; Stress activated protein kinase JNK1; Stress-activated protein kinase 1; Stress-activated protein kinase JNK1; Tyrosine protein kinase JAK1 .
遺伝子 ID	5599

SwissProt ID P45983
免疫原 標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

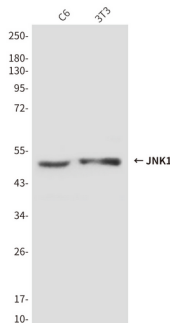
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼファミリーのメンバーです。MAPキナーゼは、複数の生化学的シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは様々な細胞刺激によって活性化され、特定の転写因子を標的とすることで、細胞刺激に対する前初期遺伝子発現を媒介します。腫瘍壊死因子 α (TNF- α) によるこのキナーゼの活性化は、TNF- α 誘導性アポトーシスに必要であることが分かっています。このキナーゼは紫外線誘導性アポトーシスにも関与しており、これはシトクロム C を介した細胞死経路と関連していると考えられています。この遺伝子のマウス対応遺伝子を用いた研究では、このキナーゼが T 細胞の増殖、アポトーシス、および分化において重要な役割を果たすことが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエントが報告されています。
[RefSeq 提供、2016年4月]

研究分野

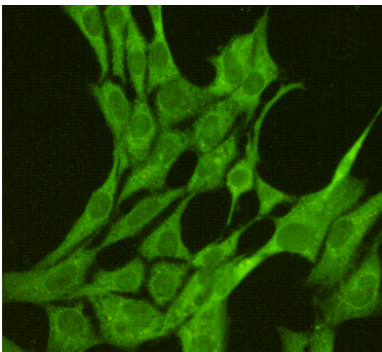
シグナル伝達

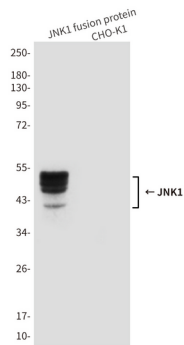
画像データ

JNK1 抗体を使用した C6 および 3T3 溶解物中の JNK1 のウェスタン ブロット分析。



JNK1 抗体を用いた 3T3 における JNK1 (1A4) の免疫蛍光分析。





CHO-K1 細胞溶解物(B)および JNK1 フラグメント融合タンパク質を導入した CHO-K1(A)細胞溶解物中の JNK1(1A4)の JNK1 抗体を用いたウエスタンブロット解析。